Hyogo Prefecture

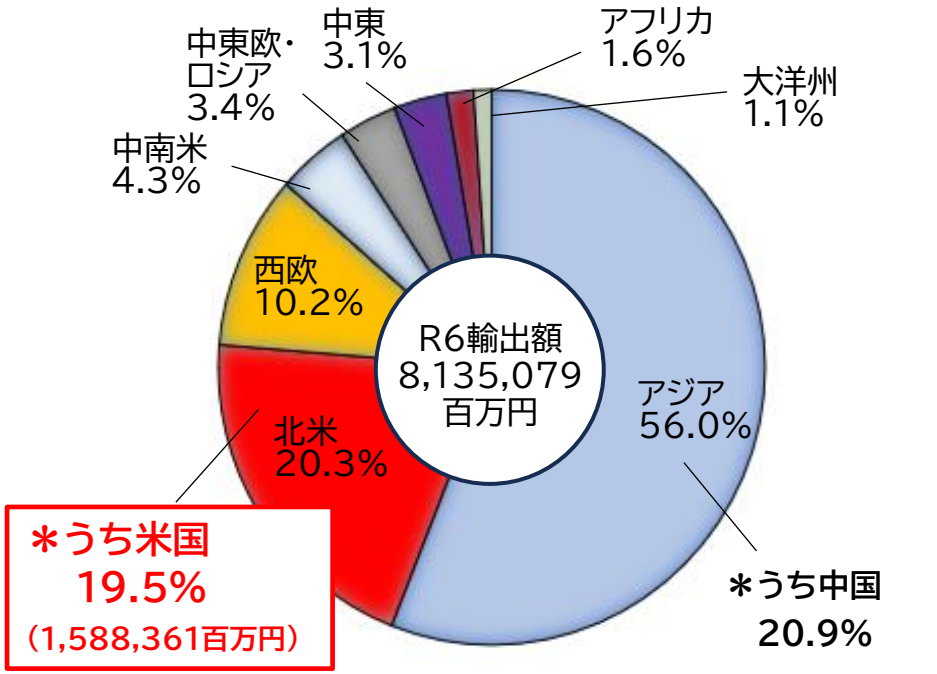
米国の関税措置に係る兵庫県経済対策会議（兵庫県説明資料）

令和７年５月８日
16：00 ～ 17：00
兵庫県庁2号館５階庁議室

神戸港等からの米国への輸出状況

輸出額ベースで見ると、県内の貿易港からの輸出先に占める米国の割合は約20%（輸出額：約１兆５千９百億円）。中でも、製造業に関する割合が高く、影響が懸念される。

1 県内貿易港からの輸出先



（令和6年兵庫県貿易統計（確々報値）：主要地域（国）別輸出入額表に基づき本県作成）

（米国への輸出額）

区　分	輸出額（百万円）	構成比（%）
神戸港	1,453,116	91.5
姫路、東播磨、尼崎西宮芦屋港	135,245	8.5
合　計	1,588,361	100.0

（令和6年兵庫県貿易統計（確々報値）：主要地域（国）別輸出入額表および
令和6年支署（管内地方港）国別輸出（確々報）：港別輸出国別表に基づき本県作成）

2　神戸港から米国への輸出状況

区　分	輸出額（百万円）	構成比（%）	主な品目
1. 食料品	37,161	2.6	魚介類及び同調整品
2. 原料品	22,030	1.5	織物用繊維
3. 鉱物性燃料	500	0.0	石油製品
4. 化学製品	335,157	23.1	有機・無機化合物、プラスチック、医薬品
5. 原料別製品	165,092	11.4	非鉄金属、鉄鋼、金属製品、ゴム製品
6. 一般機械	565,764	38.9	建設用・鉱山用機械、荷役機械、原動機
7. 電気機器	175,268	12.1	重電機器、電気回路等、電池、自動車用等の電気機器
8. 輸送用機械	93,198	6.4	自動車の部分品、二輪自動車類、鉄道用車両、自動車
9. その他	58,947	4.1	科学光学機器　等
合　計	1,453,116	100.0	

92%

（令和6年分神戸税関貿易概況（確々報）：輸出地域（国）別品別表に基づき本県作成）
※四捨五入による端数調整により合計と内訳の計は必ずしも一致しない

米国の関税措置に対する兵庫県の対応

1 相談窓口を設置（4/4付）

（1）中小企業向けの総合相談窓口を設置

ひょうご産業活性化センター「兵庫県よろず支援拠点」内
受付時間：9:00～17:00（祝日を除く月～金）

（2）専門相談窓口による対応

多岐にわたるニーズに対応するための専門相談窓口

区　分	対応拠点
海外のビジネス展開	ひょうご海外ビジネスセンター内
新たな取引先の開拓	ひょうご産業活性化センター内 (下請けかけこみ寺、ものづくり取引あっせん)
生産性の向上	ものづくり支援センター内
資金繰り支援	兵庫県信用保証協会　各支所等
	兵庫県地域経済課内

※ 県HPで上記情報を取りまとめた特別サイトを立上げ

【参考】相談の状況（4月末時点）

計３件

2 主な企業の声

県内主要企業に対してヒアリング調査を実施

【主な声】（4月末時点）

・マイナス影響あると思われるが、現段階では詳細不明
・今後の世界経済の停滞を懸念
・自動車向け部品などサプライチェーンの影響を懸念
・影響は限定的　　等

3 今後の対応方針

（1）関係機関・団体と連携した情報収集

（2）設置した相談窓口を通じたサポート

（3）特に経済変動の影響を受けやすい中小企業に対する資金繰り支援など、経営基盤の下支え

中小企業融資制度において、通常より貸付要件を緩和する「米国関税措置対策枠」の創設を検討中

（4）県内産業への影響を見極めながら、それを緩和し競争力を高めるための必要な対策の検討